

1月26日(火)

平成28年度 金沢学院大学 入学試験問題
(一般入試I期)

日本史

I 注意事項

解答用紙に日本史と記入・マークし解答してください。

問題は1ページから9ページまであります。

問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

II 解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10

と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の(例)のように解答番号10の解答欄の④にマークしてください。

(例)

解答 番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

紀元前4世紀頃、大陸の農耕文化の影響を受けて、西日本に水稲耕作を基礎とする弥生文化が成立した。この文化はやがて東日本にも広まり、(ア)と南西諸島を除く日本列島の大部分の地域では、食料採取の段階から食料生産の段階へと移り変わっていった。また、弥生文化は、鉄や(A)青銅などを用いた金属器、稲の穂摘み用具である(イ)など朝鮮半島系の磨製石器、機織り技術などをともなう新しい文化であった。

弥生時代前期の水稲耕作は低湿地中心の湿田で営まれていたが、中・後期になると灌漑・排水施設を必要とする乾田の開発が進められ、その生産性は向上していった。これらの(B)水稲耕作をともなう遺跡からは、鋤、鍬、田下駄、田舟、(C)竪杵、木臼など、精巧に加工された木器が発見されることがある。木器を製作する際、木材の伐採・加工には、主として大陸系の磨製石器が用いられたが、やがて製品の仕上げ工程には、鉋、(ウ)などの工具が使用されるようになった。

農耕の発達は、社会生活の上にも大きな変化をもたらした。生産力が高まり、収穫物の蓄積が可能になると集落間で貧富の差が生じるようになった。また、中期以降の大規模な治水・灌漑では、いくつかの集落による共同作業が必要となり、1つの水系を単位とした地域を統率する首長が出現した。こうした人々に統率された地域集団では、蓄積された余剰生産物をめぐって闘争が行われるようになり、やがて強力な集落は周辺の集落を統合し、各地に「クニ」とよばれる政治的なまとまりが分立していった。

問1 文中の(ア)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□1

- ① 北海道 ② 東北 ③ 北陸 ④ 四国

問2 文中の(イ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□2

- ① 石棒 ② 石錘 ③ 石鍬 ④ 石包丁

問3 文中の(ウ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□3

- ① 刀子 ② 鉄鎌 ③ 銅戈 ④ 銅鍬

問4 下線(A)は銅と何の合金か。適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は□4

- ① 亜鉛 ② ニッケル ③ 銀 ④ 錫

問5 下線(B)のうち福岡県に所在する遺跡として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。
解答番号は5

- ① 吉野ヶ里 ② 板付 ③ 唐古・鍵 ④ 登呂

問6 下線(C)を用いて脱穀している様子を描いた銅鐸が出土した桜ヶ丘遺跡の所在地として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は6

- ① 奈良県 ② 佐賀県 ③ 静岡県 ④ 兵庫県

問7 弥生時代の埋葬習慣の説明として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。
解答番号は7

- ① 山陰地方では、墳丘に突出部を持つ四隅突出型墳丘墓がみられる。
② 畿内では、特製の大型の甕棺に死者を葬ったものが多い。
③ 九州北部では、地上に大石を配した支石墓を営んでいた。
④ 東日本では、死者の骨を土器につめた再葬墓がみられる。

問8 弥生時代に出現する高地性集落の説明として適当なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は8

- ① 高地性集落が出現するのは、弥生時代後期になってからである。
② 高地性集落は、九州北部を中心に多く分布する。
③ 高地性集落として有名な遺跡として、岡山県の紫雲出山遺跡があげられる。
④ 高地性集落は、戦争に備えた逃げ城的な集落と考えられている。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

平清盛が後白河法皇を幽閉し、1180(治承4)年に孫にあたる(ア)を即位させると、地方の武士団や、中央貴族・大寺院の中には、平氏の専制政治に対する不満がうず巻き始めた。こうした情勢をみた後白河法皇の皇子(イ)と、畿内に基盤を有する源氏の(ウ)は平氏打倒の兵をあげ、挙兵を呼びかける(イ)の命令(令旨)が諸国の武士に伝えられた。

これに応じて、園城寺・興福寺などの僧兵が立ちあがり、つづいて伊豆に流されていた源頼朝や信濃の木曾谷にいた(エ)をはじめ、諸国の武士団が兵をあげ、ついに内乱は全国的なものに広がった。

平氏は当初、(オ)に都を移したが、大寺院や貴族の反対にあい、約半年間で京都に都を戻し、畿内を中心とする支配を固めてこれらの動きに対応した。しかし、次第に平氏の基盤は弱体化し、1183(寿永2)年、北陸で(エ)に敗北して都落ちし、1185(文治元年)、源頼朝が派遣した軍勢が、長門の(カ)で平氏を滅亡させた。

その後、東国を中心にした頼朝の支配権は、西国にもおよび、武家政権としての鎌倉幕府が確立した。

問1 文中の(ア)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は9

- ① 後一条天皇 ② 後鳥羽天皇 ③ 高倉天皇 ④ 安徳天皇

問2 文中の(イ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は10

- ① 高望王 ② 以仁王 ③ 宗尊親王 ④ 護良親王

問3 文中の(ウ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は11

- ① 源範頼 ② 源頼信 ③ 源頼政 ④ 源頼義

問4 文中の(エ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は12

- ① 源義家 ② 源義経 ③ 源義朝 ④ 源義仲

問5 文中の(オ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は13

- ① 恭仁京 ② 長岡京 ③ 福原京 ④ 藤原京

問6 文中の(カ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は14

- ① 壇の浦
- ② 一の谷
- ③ 倶利伽羅峠(砺波山)
- ④ 屋島

問7 鎌倉幕府において、任命された守護の職務の1つである大犯三カ条に**該当しないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は15

- ① 京都大番役の催促
- ② 分国法の制定
- ③ 殺害人の逮捕
- ④ 謀叛人の逮捕

問8 鎌倉幕府の支配機構について述べた説明として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は16

- ① 侍所は御家人を組織し統制するもので、長官(別当)には東国御家人の上杉憲実が任じられた。
- ② 政所は、一般政務や財政事務をつかさどり、京都から招かれた藤原頼経が長官(別当)となった。
- ③ 問注所は裁判事務を担当し、京都から招かれた和田義盛が長官である執事となった。
- ④ 京都守護は朝廷との関係で重視され、のちには六波羅探題と改められた。

第3問 次のⅠ・Ⅱ・Ⅲの問題文を読み、問いに答えよ。

Ⅰ. 以下の A～F の文章は、元禄期の文学に関連した人物について説明したものである。
問 1～4 について答えよ。

- A 伊賀の出身で、奇抜な趣向をねらう談林俳諧に対し、さび・かるみで示される幽玄閑寂の正風俳諧を確立した。
- B 作品には『曾根崎心中』など当時の世相に題材をとった世話物、明朝末期の遺臣鄭成功をモデルに明再興を筋立てとする『国性爺合戦』など歴史的事柄を扱った時代物などがある。
- C 大坂の町人で、初め西山宗因に学んで談林俳諧で注目を集めた。
- D 自然と人間を鋭く見詰め、『笈の小文』などの紀行文を著した。
- E 現実の社会や歴史に題材を求め、義理と人情の板挟みに悩む人々の姿を人形浄瑠璃や歌舞伎の脚本によって描いた。
- F 浮世草子と呼ばれる小説に転じ、現実の世相や風俗を背景に、人々が愛欲や金銭に執着しながら、自らの才覚で生き抜く姿を描いた。

問 1 元禄期の世話物として挙げられる作品として適当なものを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① 『世間胸算用』 ② 『冥途の飛脚』 ③ 『日本永代蔵』 ④ 『好色五人女』

問 2 A～F の文の中で、井原西鶴の説明文として適当な組み合わせを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① A-E ② C-F ③ B-D ④ A-F

問 3 上の A～F の文の中で、近松門左衛門の説明文として適当な組み合わせを、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は

- ① A-D ② E-F ③ B-C ④ B-E

問 4 元禄文化の特色として**適当でないもの**を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号

- ① 鎖国状態が確立したことで、日本独自の文化が成熟した。
- ② 民衆の演劇として、歌舞伎が発達した。
- ③ 文化の担い手は、従来の富裕層だけでなく、一般の町人や地方の商人、有力百姓にまで広がった。
- ④ 平和と安定の中で、猿楽能が完成した。

Ⅱ. 以下の G・H の文章は、元禄期の儒学者について説明したものである。問 5・6 について答えよ。

G 陽明学を学び、古代中国の道德秩序をうのみにする儒学を批判したため、幕府により下総古河に幽閉され、そこで病死した。

H 古学を受け継ぎ、政治・経済にも関心を示し、都市の膨張を抑え、武士の土着が必要であると説いた。江戸で私塾護園塾を開き、自説を講義した。

問 5 G が示す儒学者として適当な人名を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 2 1

- ① 中江藤樹 ② 山崎闇斎 ③ 熊沢蕃山 ④ 伊藤仁斎

問 6 H が示す儒学者として適当な人名を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 2 2

- ① 荻生徂徠 ② 新井白石 ③ 伊藤仁斎 ④ 太宰春台

Ⅲ. 以下の文章は、元禄期の諸学の発達について説明したものである。問 7・8 について答えよ。

元禄期には、自然科学においても新たな展開が見られた。本草学や農学・医学などの実用的な学問が発達し、(ア) の『大和本草』、宮崎安貞の『農業全書』などが広く利用された。また、測量や商売取引などの必要から和算が発達し、関孝和は筆算代数式とその計算法や円周率計算などですぐれた研究をした。天文・暦学で(イ) は京都の土御門家に入門の上、暦の誤差を修正して日本独自の暦を作った。

問 7 文中の(ア) に適当な語句を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 2 3

- ① 緒方洪庵 ② 高野長英 ③ 平賀源内 ④ 貝原益軒

問 8 文中の(イ) に適当な語句を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 2 4

- ① 志筑忠雄 ② 高橋至時 ③ 伊能忠敬 ④ 渋川春海

第4問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

ロシアの南下策に対抗して日英同盟が締結された後、(ア)内閣はロシアと満州・韓国の勢力分割をめぐって交渉をおこなったが、1904(明治37)年初めに決裂し、同年2月、両国はたがいに宣戦を布告し、(A)日露戦争がはじまった。日本軍は満州に進軍し、1905(明治38)年初めには、半年以上の包囲攻撃で多数の兵を失った末に、ようやく(イ)要塞を陥落させ、ついで3月には(ウ)会戦で勝利し、さらに5月の日本海海戦では、日本の連合艦隊がロシアの(エ)艦隊を全滅させた。しかし日本の国力ではこれ以上戦争を続けることは困難となっており、ロシアも国内で革命運動がおこって戦争継続が困難になったため、アメリカ大統領セオドア＝ローズヴェルトの斡旋により、アメリカの(オ)で日本全権(カ)とロシア全権ウィッテが(B)講和条約に調印した。

問1 文中の(ア)～(カ)に適切な語句を、①～⑨の中から1つずつ選べ。

解答番号は (ア) (エ)
(イ) (オ)
(ウ) (カ)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| ① バルチック | ② 奉天 | ③ アルマダ |
| ④ 桂太郎 | ⑤ 小村寿太郎 | ⑥ 遼陽 |
| ⑦ ポーツマス | ⑧ サンフランシスコ | ⑨ 旅順 |

問2 下線(A)をめぐり日本国内世論の動向について**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は

- ① 作家の山田美妙が、「君死にたまふこと勿れ」とうたう反戦詩を『太陽』に発表した。
- ② 東京の日比谷公園で開かれた講和反対国民大会で、条約破棄を叫んだ民衆が暴徒化した。
- ③ キリスト教徒の内村鑑三や社会主義者の幸徳秋水・堺利彦らが、非戦論・反戦論を唱えた。
- ④ 対露同志会や戸水寛人ら東京帝国大学などの七博士が主戦論を唱えた。

問3 下線(B)の内容として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は

- ① 韓国に対する日本の指導・監督権を全面的に認める。
- ② 日本に支払う賠償金は、イギリス・アメリカでの国債(外債)発行で賄う。
- ③ 清国からの旅順・大連の租借権、長春以南の鉄道とその付属の利権を日本に譲渡する。
- ④ 沿海州とカムチャツカの漁業権を日本に認める。

第5問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

1954(昭和 29)年、(ア)で吉田茂内閣への批判が強まる中、(イ)ら自由党内の反吉田派は離党して、(イ)を総裁とする(ウ)を結成した。同年末、吉田茂内閣は退陣して(イ)内閣が成立した。(A)1955(昭和 30)年、革新陣営では左右両派に分かれていた日本社会党が 10 月に再度統一され、保守陣営では 11 月に(ウ)と自由党が合流して(エ)が結成され、初代総裁には(イ)首相が選出された。(B)ここに 55 年体制と呼ばれる政治体制が成立し、以後 40 年近く続くこととなった。(イ)内閣のあとを継いで、(オ)内閣が成立したが、首相の病気により短命に終わり、1957(昭和 32)年、(カ)内閣が成立した。

問 1 文中の(ア)に適切な語句を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 3

- ① 昭和電工事件 ② 造船疑獄事件 ③ ジーメンス事件 ④ ロッキード事件

問 2 文中の(イ)に適切な人名を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 4

- ① 芦田均 ② 石橋湛山 ③ 岸信介 ④ 鳩山一郎

問 3 文中の(ウ)に適切な語句を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 5

- ① 日本協同党 ② 日本進歩党 ③ 日本民主党 ④ 日本労農党

問 4 文中の(エ)に適切な語句を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 6

- ① 自由民主党 ② 新自由クラブ ③ 日本進歩党 ④ 民主自由党

問 5 文中の(オ)に適切な人名を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 7

- ① 芦田均 ② 池田勇人 ③ 石橋湛山 ④ 幣原喜重郎

問 6 文中の(カ)に適切な人名を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 8

- ① 池田勇人 ② 岸信介 ③ 佐藤栄作 ④ 鳩山一郎

問 7 下線(A)の年の出来事を、①～④の中から 1 つ選べ。解答番号は 3 9

- ① 朝鮮戦争の勃発 ② 北大西洋条約機構の結成
③ 中華人民共和国の成立 ④ アジア＝アフリカ会議の開催

問 8 下線(B)に関して述べた説明として**適当でないもの**を、①～④の中から 1 つ選べ。

解答番号は

- ① 55 年体制が成立した直後の総選挙で、日本社会党が衆議院第一党となった。
- ② 保守勢力が衆議院の議席の 3 分の 2 弱を維持して推移し、保革対立のもとで保守一党優位の政治体制が続いた。
- ③ 1960 年代から 70 年代に、日本社会党から民主社会党が分立し、新たに公明党が結成され、日本共産党が議席を増やすなど、多党化現象がみられた。
- ④ 1993(平成 5)年に細川護熙を首相とする 8 党派の連立政権が成立して政権交代が起こり、55 年体制は終焉した。